

## 暮らしの場や養育者がかわった後にやるべきこと

	I	II	III	IV	V	VI	VII
	子どもへの説明	アセスメントと適切なケア	養育者間の連携	環境を整える	子どもの歴史	移行期の養育者との交流	その他 統合支援など
目標	<希望に満ちた新しい環境への説明> ・これからの生活についての説明 ・移行の理由、期間、目標の本人理解に努める ・説明のみならず、体験等も含める ・施設の方針・事業計画等の説明 ・養育の連続性の保証	<子どもを受け止める> ・アセスメントと適切なケア ・子どもの希望、考えや思いを傾聴する ・養育者が子どものありのままを理解する努力をする	<養育者間の情報共有> <支え合う関係性の構築> ・前の養育者との連携を積極的に取り組む	<新しい生活への準備に向けて、生活用品、衣服の用意> <子どもの居場所づくりに心がける> ・養育の連続性、継続性の保証 ・集団に慣れるまでの段階的な環境整備	<子どもの歴史の継承の確保> <子どもの歴史の把握、振り返り> ・前養育者の話を聞く ・育ちノート、育てアルバムを作成	<養育者間の一貫した養育の連続性の保証> ・機関、個別の交流の継続 ・養育の価値観、目標を一貫したものにす ・連携のあり方を求める	<子どもの気持ちを汲み取る>
1	移行に関しての理由・経緯の説明	アセスメント	新旧養育者間の良好な関係構築	良好な環境づくり	子どもの歴史の大切なものを大切にする	面会・通信の保障	保護者への説明
2	安心・安全の保証	子どもの考えの傾聴	移行前の養育者間の情報共有	居場所づくり	子どもの歴史の情報収集	前養育者の状況を子どもに伝える	
3	今後の支援のあり方	不安を解消し、安心させる支援	移行前の関係を維持する	子どもが大切にしてきた物を大切にする	生い立ちの整理	移行後の子どもの様子を前養育者に伝える	
4	リスクの説明		移行後の養育者間の連携				
5	養育者の自己開示						
6							
7							

※「移行(期)」とは、「措置変更などにより暮らしの場や養育者がかわること(とき)」を指しています。